

SUN **つながり**。

人と地域とつながり
認知症になっても安心して
暮らせる未来につなげる

Cafe つながり /
志手原校区地域づくり協議会

山内 雅弘 さん

Masahiro Yamauchi 志手原



Instagram

「大切なのは心が通じ合うこと」と語る山内雅弘さん。志手原校区地域づくり協議会の第一部会長として、令和7年から、地域の人が集う「Cafe つながり」を中心となって開催している。

きっかけは、地域包括支援センターから認知症カフェの開催を持ち掛けられたことだった。当初、協議会では慎重な意見も多かったという。「認知症カフェに誘うことを失礼と思われな心配だ」と言われ、言葉を返せなかった」と、当時を振り返り苦笑する。しかし、「やってみることでは分からないことがあるから」と、山内さんは一度だけ試験的に開催することを決断。そんな中、開催に向け受講した認知症サポーター養成講座で、認知症に対する考えが変わったという。「実は自分の親も認知症で、どのように接していけばいいか悩んでいたところでした。でも、難しく考えすぎていたんだと分かって、普段通りに接して、心を通い合わせれば何とかなる」と感じ、気持ちが楽になりました」と、やわらかい笑顔で語った。

て参加した女性は、「夫の機嫌や体調から、最後まで参加しているか不安でした。でも、終始楽しそう。ずっと無表情だった夫が、帰りには鼻歌まで歌っていたんです」とうれしそうに話していたという。「こんなに喜んでくれる人がいるなら、やらない理由はない」— Cafe つながりを本格的に開催することが決まった。

Cafe つながりは「認知症カフェ」という名称を使っていない。それは、認知症の人やそれを支える人だけが参加するものではなく、地域の誰もが集える場所にしたいという想いから。もし認知症になっても、顔を合わせ、人や地域とのつながりや居場所を持ち続けられるように。その場所が、志手原校区が目指す「誰もが安心して暮らせる温かい地域」につながると信じて。

Cafe つながりは、山内さんの一声で実現しました。協議会の中だけでなく、民生委員・児童委員や防災士として、地域の中でつながりをつくり続けている山内さんだからこそのことだと思っています。



■ 支援する三輪北包
・小野・高平地域職員
括支援センター職員
井本千鶴さん